

2022年7月8日

博報堂キャリアリジョ研「共働きファミリーの将来・未来への意識調査」を実施
将来・未来について不安や不満を抱える人は8割超。
不安を抱えながらも未来に対して考え、行動をし始めている「未来行動ファミリー」は
4人に1人の割合で存在し、「時代に合わせて自分も成長や学習が必要」という
価値観で、サステナブルな家事に関心を持つ。

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸）の社内プロジェクトで働く女性（キャリアリジョ）を研究する「博報堂キャリアリジョ研」では、これまでも研究をしてきた20～40代の「キャリアママ」を含む共働き子ありファミリーである男女に対して、将来・未来に対する意識調査を実施しました。将来・未来に不安や不満を、約8割の人が感じている中で、未来のことを考えて何かアクションを始めている「未来行動ファミリー」に着目し、行動まで踏み込む背景にある価値観や関心があることについての特徴を分析しましたので、結果をご紹介します。

先行きが不透明で、将来の予測が困難な「VUCA時代」と言われるようになって久しいですが、ビジネスだけでなく、これからの未来にどう向き合っていくのか生活者一人一人が考える時代になってきました。ただし、未来のことを考えて行動に移すまでには様々なハードルがあり、不安や焦りを抱えている人も多いと感じます。博報堂キャリアリジョ研は、今後も生活者の生活のヒントにつながるようなナレッジを提供してまいります。

<調査結果のポイント>

- 自分や子ども、親に対する将来・未来の不安や不満を感じている人は全体の8割超。多くの人が不安・不満を抱えている。
- 不安・不満はありながらも、未来について考え、何らかの行動を始めている「未来行動ファミリー」は26.2%存在する。
- 考え・価値観に関して、共働きファミリー全体と比較して未来行動ファミリーは「時代に合わせて自分も成長や学習が必要だと思う」という意識が高く、未来に向けて「今をしっかり見極めて行動したい」「できるだけ早く準備をしたい」「必要なことにはお金をかける」という行動的な意識や「人生は自分の行動や気持ちで変えられる」というポジティブな意識を持っている。
- 関心があることについては、共働きファミリー全体は「資産形成」「家事・育児分担」「学校教育以外の子どもの教育」「子どもの体験を広げる塾・習い事」と続く。一方で、未来行動ファミリーは、それらの項目に加え、「サステナブルな商品や方法の家事」にも関心が高め。

【本件に関するお問い合わせ】

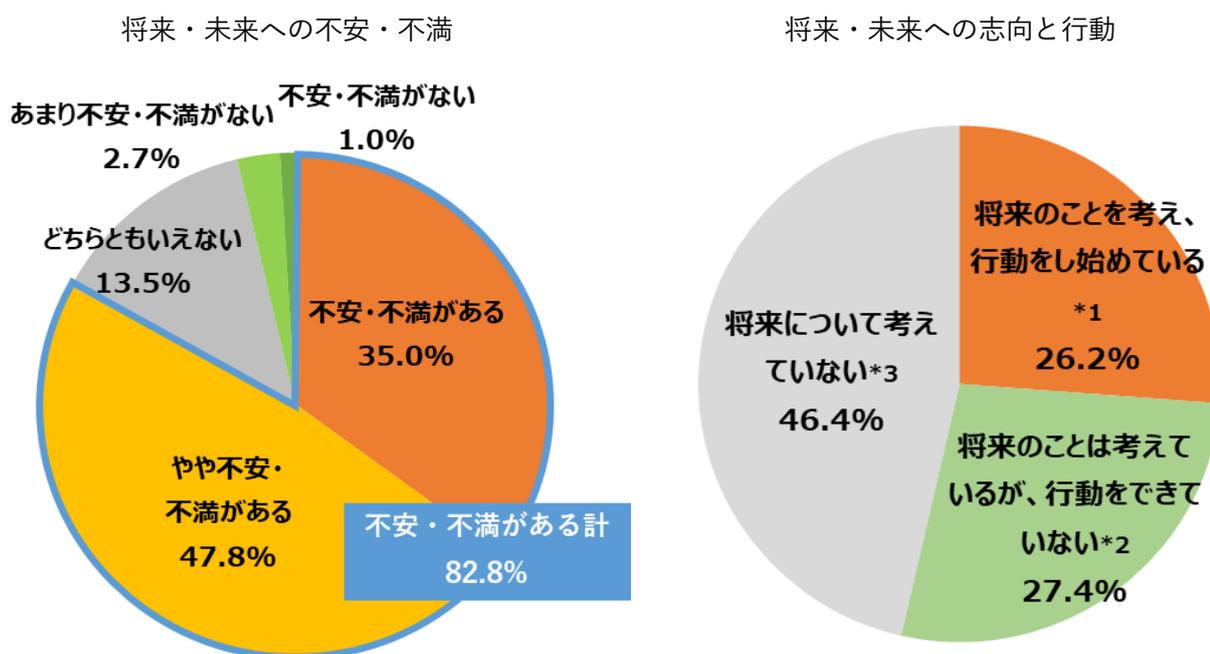
株式会社博報堂 広報室 西尾・戸田 TEL:03-6441-6161 e-mail: koho.mail@hakuhodo.co.jp

共働き家族の未来・将来に対する意識調査 調査概要

- 調査地域：全国
- 調査対象者：20～40代の既婚子あり共働きファミリー 5,794名（男性1,951名、女性3,843名）
※総合・一般職・派遣・フリーランスなどは問わず。パート・アルバイトは除く
- 調査手法：インターネット調査
- 調査期間：2022年2月
- 調査委託先：H.M マーケティングリサーチ

<調査結果のデータ>

- 自分や子ども、親に対する将来・未来の不安や不満を感じている人は全体の8割超と多くの人が不安・不満を抱えている。
- 不安・不満はありながらも、未来について考え、何らかの行動を始めている「未来行動ファミリー」は26.2%存在する。



*1 将来のことを考え、行動をし始めている「未来行動ファミリー」とは
「自分の将来・未来」「子どもの将来・未来」「親の将来・未来」のいずれかについて「将来のことを考え、行動をし始めている」と回答した人

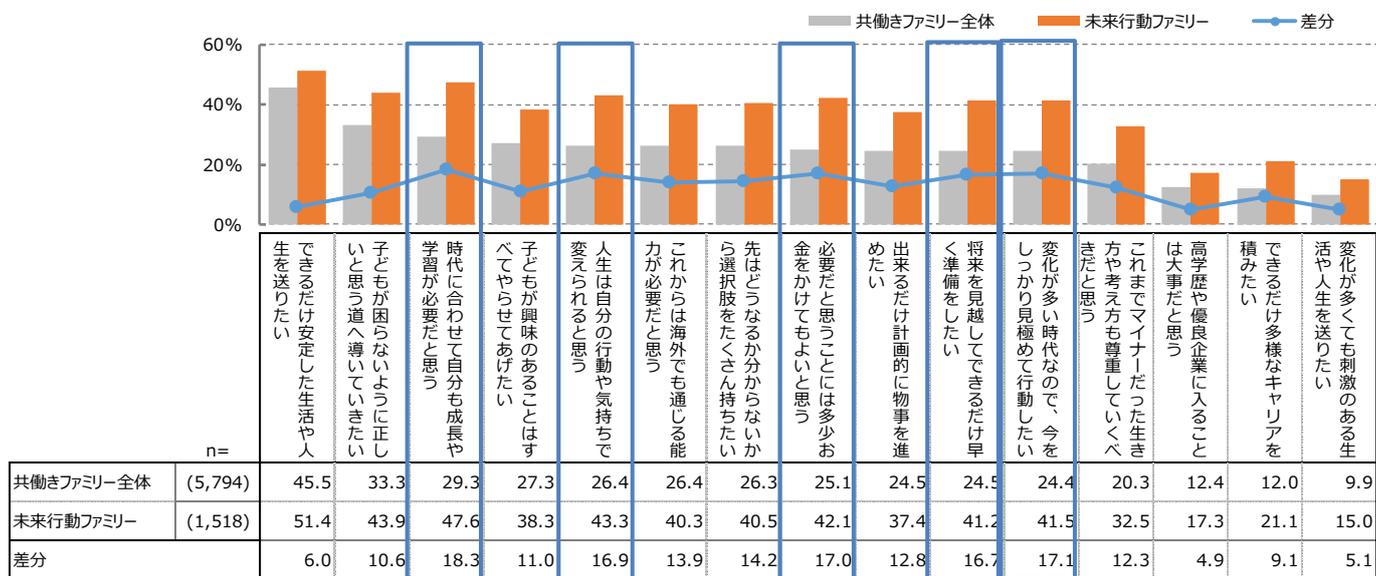
*2 将来のことは考えているが、行動をできていないとは
「自分の将来・未来」「子どもの将来・未来」「親の将来・未来」のいずれかについて「考えてはいるが、行動に移れていない」「考えてはいるが、何をしてもよいかかわからない」「考えようとしているが、先延ばしにしている」と回答した人

*3 将来について考えていないとは
「自分の将来・未来」「子どもの将来・未来」「親の将来・未来」のいずれかについて「考えている余裕がない」「どうなるかわからないので考えても仕方がないと思っている」「考える必要性を感じていない」と回答した人

- 考え・価値観に関して、共働きファミリー全体と比較して未来行動ファミリーは「時代に合わせて自分も成長や学習が必要だと思う」という意識が高く、未来に向けて「今をしっかりと見極めて行動したい」「できるだけ早く準備をしたい」「必要なことにはお金をかける」という行動的な意識や「人生は自分の行動や気持ちで変えられる」というポジティブな意識を持っている（青枠は差分 15pt 以上の項目）。

Q. 以下についてご自身のお考えにあてはまるものをそれぞれお選びください。

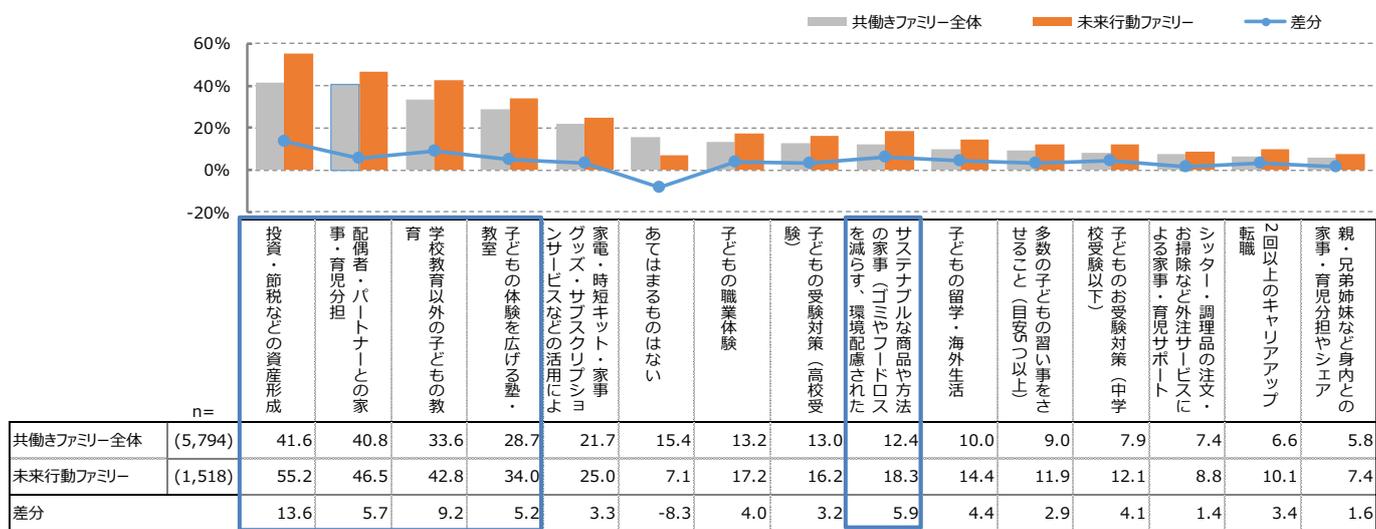
（「あてはまる」～「あてはまらない」の5段階に対する「あてはまる」の回答率）



※共働きファミリー全体が高い順に並び替え

- 関心があることについては、共働きファミリー全体は「資産形成」「家事・育児分担」「学校教育以外の子どもの教育」「子どもの体験を広げる塾・習い事」と続く。一方で、未来行動ファミリーは、それらの項目に加え、「サステナブルな商品や方法の家事」にも関心が高め。（青枠は差分が 5pt 以上の項目）

Q. あなたの現在関心（または今後可能性）のあることをお選びください。（複数回答可／共働きファミリー全体の上位 15 項目抜粋）



※共働きファミリー全体が高い順に並び替え